

<医療上の注意事項>

I、使用を誤ると、死亡や重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される注意事項

- ・心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人は使用しないでください。

II、使用を誤ると、死亡や重傷を負う可能性が想定される注意事項

- ・次のような医療機器との併用は、影響を与える可能性があるので使用しないでください。

(1) 電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器。

ペースメーカ、植込み型除細動器等。

(2) 装着形の医用電気機器。

心電計、ペースメーカ、人工呼吸装置、酸素吸入器、薬剤自動注入器、人工心臓等。

III、使用を誤ると、障害や症状の悪化、物的損害等が想定される注意事項

- ・使用中に身体に異常を感じたときには、直ちに使用を中止してください。

- ・上部電極や通電台等が濡れている場合には使用しないでください。

- ・外部の人が使用中の人に触れないよう注意してください。

- ・使用中の人が外部の人や物に触れたり、物を受け渡したりしないよう注意してください。

- ・次の人は、医師に相談の上、ご使用ください。

(1) 悪性しゅよう（腫瘍）のある人。

(2) 心臓に障害のある人。

(3) 妊娠初期の不安定期又は出産直後の人。

(4) 体温38℃以上（有熱期）の人。

例1 急性炎症症状[けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期にある人。

例2 衰弱している人。

(5) 安静を必要とする人。

(6) 急性[とう（疼）痛性]疾患の人。例えば、せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなどによるもの等。

(7) 知覚障害のある人。例えば、糖尿病などによる高度な末梢循環障害によるもの等。

(8) 温度感覚喪失が認められる人（電熱装置をもつ機器に限る）。

(9) 高血圧の人（寝式使用の場合）。

(10) 不整脈のある人（寝式使用の場合）。

(11) 睡眠時無呼吸症の人（寝式使用の場合）。

(12) ぜん（喘）息の人（寝式使用の場合）。

- ・他の治療器と同時に使用しないでください。